

令和6年度
事業計画書

社会福祉法人 あすなろ会

石津川保育園

令和6年度に向けて

令和5年度は22名の子ども達が卒園します。

コロナ禍による行動制限もなくなり、いろんな行事が今まで通り行えるようになりました。小学校や地域での交流も行い、保育参加では保護者の方に保育園の取り組みや実際の保育の様子・子どもの様子を見てもらうことができました。令和5年度はたくさんの方が保育参加してくださりました。令和6年度も保育参加に限らず、動画配信や写真等を使い、保護者が安心してお子さんを預けられる、困ったときは頼りにされる開かれた保育園にしていきたいと思えます。

最近では障がいのある子・グレーゾーンの子・養育能力が低い保護者など問題の抱えるご家庭がたくさん見受けられます。そのようなお子さんや保護者へのアプローチ、支援に向けたプロセスを考えることは大切だと思います。そのためには保育士自身もしっかり学ぶ場、学べる時間を確保し、保育のスキルアップを目指した研修や園内研修を通して職員間の連携・コミュニケーションが取りやすい環境づくりをしていきたいと思えます。そして石津川保育園の良さである『職員みんなで保育園の子ども一人ひとりを見守る』保育をしていきたいと思えます。

保育園は『人とのつながりが子どもを育て、保護者・職員も育つ』大切な場です。また働きやすい職場作りも大切だと考えています。本園は職員の離職率はありがたいことに低いものの、職員の家庭状況が変化しているのも事実です。職員が困ったときはSOSを声に出して言える環境

を作っていきたいと思います。

防災に関しても、今年1月1日に能登で大きな地震がありました。改めて、「地震や災害はいつ起こるか分からない」ことを考えさせられました。子どもの命を預かる仕事をしている以上、どこにいても何をしていてもすぐに動けるよう、日頃から訓練を習慣化し、マニュアルを作り、定期的に見直したいと思います。また子どものケガや給食での誤嚥事故、不適切保育などニュースでの情報も他人事と思わず、起こらないように、自分自身の保育を振り返られるようにしていきたいです。

令和6年度は21名の子ども達が入園予定です。また新たな出会いがあることを嬉しく思いながら、子ども達の成長を共に喜び合い、共に成長する1年でありたいと思います。

《保育園の概要》

施設名 社会福祉法人 あすなろ会 石津川保育園
所在地 堺市西区浜寺石津町東3丁6-25

①定員 120名 生後3ヶ月の乳児から就学前の幼児

②利用日・時間

開園日・時間 月～土曜日 午前7時から午後7時まで
休園日 日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する
年末・年始休暇日…12月30日から翌年1月4日まで

《教育・保育理念》

- ・ひとりひとりの子どもを大切に、「感謝の気持ち」「相手を思いやる心」を持つ子どもに育てる
- ・保護者に信頼される温かな支援を心掛け、また「社会貢献している女性の就労」への支援も積極的に行う
- ・地域、家庭との協力をもとに、「地域の子育て」の支援の充実を図る
- ・上記を実現するために、職員は豊かな愛情を持って接し、知識の習得と技術の向上、さらには自らの人間的な成長に努める

《教育・保育方針》

- ・一人ひとりを大切にし、大人に可愛がられ友達との関わりの中で、心地よい生活ができるようにします。
- ・保護者の気持ちを理解し、信頼関係を築き、連携を深めていきます。
- ・地域社会の人々と交流を深め、保育ニーズを受け入れ、在宅子育てを行います。

《教育・保育目標》

- ・健康な心と体をつくる
- ・保育教諭や友達との生活を楽しむ
- ・豊かな表現力とことばを身につける
- ・好きな遊びを十分にする
- ・豊かな感性と好奇心を育てる
- ・いろいろな人と関わり、思いやりをもつ

《保育内容》

- (0歳児)** ・一人ひとりの生理的欲求を満たし、生活のリズムになじむ。
- ・適切な養護と安全を図りながら、お座りやハイハイ、つかまり立ちなどの基礎体力となる運動をする。
 - ・大人との安定した情緒的な人間関係が満たされ人に関わる。
 - ・自然物や玩具など、物を見たり触ったりして興味をもつ。
- (1歳児)** ・食事や排せつ、睡眠などの生活活動にやる気をもつ。
- ・自然や身近な用具、玩具に興味や関心をもち、試したりする。
 - ・経験を通して言葉を覚え、言葉を使った遊びが少しできる。
 - ・感情を素直に表現して機嫌よく過ごし、友達との関わりが始まる。
 - ・歩行が完成し、目的をもった身体の働きが出来る。

(2歳児) ・安心できる保育者との関係のもとで食事、排泄、着脱など簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。

・自分の気持ちを素直に表現し、自己発揮し友達と一緒に好きな遊びを意欲的に行う。

(3歳児) ・基本的な生活の仕方がわかり、自分からしようとする。

・元気に遊びながら、身のこなし方を覚え、活発に運動する。

・保育者や友達と色々な関わりをもちながら集団生活に必要な決まりを知り、遊びを楽しむ。

・自分のやりたい事や感じた事を言葉で伝えたり、様々な活動で表現する。

(4歳児) ・集団生活に慣れ、喜んで色々な活動に取り組む。

・経験を通して、生活に必要な言葉を覚える。

・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。

・身近な社会や自然の出来事に興味や関心をもち、見たり触れたりする。

(5歳児) ・集団生活を楽しみ、色々な遊びを活発に行うとともに基本的な生活や態度を身につける。

・自然や身近な事象に興味や関心をもち、豊かな心情や知的好奇心を高める。

・友達同士の関わり合いを深め、意欲的・創造的に遊びや活動に取り組み充実感を味わう。

・小学校に期待をもって卒園する。

《縦割り保育》

『温かい家庭』を考えた時に子どもが同年齢でいるより異年齢でいる方が自然であるという考えから職員間でも何度も話し合い、必要性を検討してきました。

昭和62年4月より本格的に縦割り保育を始め、子ども達が遊びや生活を通して互いに関わり刺激し、成長し合って、労りや思いやりが育っているように思います。5歳児が寝ている3歳児を起こすときも、初めはどうしていいのかわからず戸惑う姿もありますが、子どもなりに考え、関わり方を学んでいます。また年上児がしていること（例えば…跳び箱や縄跳びなど）を見て、憧れを持つ姿も見られます。

お兄ちゃん、お姉ちゃんにお世話をしてもらい、たくさん甘えた分、自分より年下の子に対して自分がされたようにお世話を進んでする姿がみられます。自然と思いやりの気持ちが育っていると感じる瞬間です。

子どもの集団としての人数を考えた場合、20人前後のクラスにしています。

《延長保育》

朝7時～7時30分は早朝延長保育、18時30分～19時は夜間延長保育をしています。

延長保育児にとっては長時間での保育になるので豊かで安定した気持ちで、生活できるように家庭的な保育を心がけ配慮する。

《障がい児保育》

最近発達障がいやグレーゾーンと言われる子どもたちが増えてきました。障がいがあるなしに関わらず、どの子にも分かりやすい言葉かけや見て分かるように絵カードを用いるなど、保育の工夫をしていきたいと思えます。そして一人ひとりの気になったことや懇談内容などを定期的にノートに記録をし、支援の仕方を考えたり、職員間で連携出来るようにしていきます。保護者の気持ちに寄り添い、子育てにおいてのお子さんの悩みから、抵抗なく各相談機関にいけるようサポートをしていきたいと思えます。

また様々な障がいをもつ子どもに対応できるように保育者が知識を習得、専門機関と連携を密にし、子どもを丸ごと受け入れ、子どもも仲間も保育者もともに育つという気持ちで生活していきます。

《給食》

本園独自のメニューで手作りの給食・おやつを提供しています。子どもが口に入れるものなので、食材にこだわり、『野菜』を多く取り入れ、新陳代謝の促進や風邪予防にニンニクを入れています。また咀嚼をしっかりとできるような昆布や煮干しなども提供しています。

0歳児の離乳食は専門の職員がその子に応じた段階（中期・後期・完了）の献立を提供しています。

アレルギーのある子に関しては病院で検査をして医師の意見書を提出（1年に1回）してもらっています。そして園長・主任・看護師・主任調理師・保護者でアレルギーの確認をし、全職員が周知するようにしています。ボードに今日の子どもの人数、アレルギー児の出欠をわかりやすく明記したり、配膳でもメニューの確認・配膳の確認を何重にも行って、誤飲・誤食をしないように心掛けています。

コロナ感染対策として真ん中につい立てを置いたり、黙食をしていましたが、社会情勢をみながら、元のレストラン形式に戻していけたら…と思っています。

◎本園独自のレストラン形式

本来、本園では11時半～13時までレストラン（幼児クラスの給食）を開店。子ども達が自分で食べたい時にチケットを持って、レストランに来て給食を食べます。保育園でたくさん遊び、「お腹が空いた」と空腹感を感じ、自分たちで時計を見ながら、年下児を誘い、楽しく食事をする事で満足感も満たされます。ここ3年ほどはコロナ禍で楽しんで食べる事ができませんでした。令和6年度は机のつい立てをなくして、みんなで以前のように楽しく給食を食べたいと思います。最近、世の中が豊かになり、食べ物の意欲が失われているようですが石津川保育園では早くより食育に目を向け、日本食（和食）を多く取り入れ、野菜もたくさん摂っています。おかわりもたくさんしてくれています。苦手なものも全く食べないではなく、少量にして食べられた事を一緒に喜び、自信につなげていきたいと思っています。

給食を食べ終わると調理室につながる窓口まで食器を自分で下げます。その時に調理の先生たちに「ごちそうさま。おいしかったよ。」と自然と子どもたちが伝えています。この時間は子どもたちと調理師たちの楽しいひと時です。

《 栄養管理 》

- ①入所乳幼児の健全な発育に必要な栄養量を含むバランスの摂れた給食を衛生面に気を付けて実施する。
- ②食品の素材を生かすように薄味に心掛ける。
- ③寒い時は出来るだけ温かいものを温かいうちに配膳するタイミングも考え、保育者と厨房職員が一体となって、子どもの喜ぶ給食づくりに励む。
- ④食物アレルギーの子どもへの除去食など配慮し、栄養が偏らないようにする。
- ⑤食育としてクッキングを取り入れ、食材に触れたり、調理する過程の大切さを知る。

《 防災 》

今年の1月には能登で大きな地震が起こり、衝撃的でした。災害は本当にいつ起こるか分からないことを実感させられました。大阪にもいつ大きな地震が起こるか分かりません。職員自身がどんな時でも冷静に判断し、避難指示を子どもたちにできるようにしていきたいと思います。昨年もしたようにいろんな時間帯でいろんな場面での災害を想定して、避難訓練を行い、反省をもとに、マニュアルを作りたいと思います。

また本園は津波避難ビルになっています。園児だけでなく、地域の方も避難されます。その時にどう地域の方を迎え入れるのか、食料物資を誰が運ぶのかなどの役割分担をしっかりと作成、見直しもしていきたいと思います。

さらに職員と園児で『防災デー』という行事を通して、防災について考える日を令和6年度もしようと思います。

《地域対策》

地域との協力関係を良好に保つために、家庭や地域との連帯を密にとりながら特に保護者に協力を得て、保育運営に取り組みます。

●園庭開放

月1回、園庭を開放し、地域の未就学園児とその保護者で遊びに来てもらいます。園見学も兼ね、園の様子や在園児の様子を見てもらうため、0・1歳児クラスと一緒にゆっくり遊んでもらいながら保護者の方の悩みなども聞き、保護者のリフレッシュになるようにしたいと思います。

●おじいちゃん・おばあちゃんの集い（敬老交流会）

4・5歳児を対象に保育園に来ていただき、昔の遊びを教えてくださいたり、ふれあい遊びをできる限りやりたいと思います。

●地域交流会

石津校区にある公民館で地域の高齢者の方がしている『いきいきサロン』に年に1度、交流をしに行きます。

●公民館

4か月に1度、公民館の『にこにこ広場』に本園の職員が行き、地域の親子さんと遊んだり、子育ての相談にのっています。

●一時保育サービス

保護者のパート就労により家庭での保育が困難となる場合は週1～3日、保護者の疾病・災害・事故・冠婚葬祭などにより緊急・一時的に家庭での保育が困難となる場合は1か月以内、また保護者の育児に伴う私的な理由（リフレッシュ等）で一時的に保育が必要になる場合、園に相談していただき利用します。コロナ禍で思うように外に出れず、悩みを一人で抱え込んだり、子育てにストレスを感じてしまう家庭も多くみられると思うので、そういう家庭の受け皿となれるよう申し込みの時点（または面接の時）でじっくり話を聞き安心して利用してもらえるように心がけています。一時保育＝入園申し込みにつながるようにしていきたい

●苦情解決事業

苦情解決の体制を整え、利用者等からの苦情の適切な解決を図る。また苦情内容・解決策等をホームページに載せ、保護者に周知する。

日々の小さい苦情などもノートに書き留め、改善を図っていき、地域にとっても安心できる保育園にしていきたい。

石津川保育園における保健活動

【目的】

保育園は、子ども達が健康な毎日を送るための生活の場です。同時に、子ども達の集まる場所ゆえに病気が発生しやすい所でもあります。保健活動は日々の体調の変化をいち早く把握することで子ども達の心身の健康を守り、病気の発生や蔓延を最小限に食い止める目的があります。また、長期的な成長段階をみていくことで子ども達がそれぞれのペースでしっかりと成長していることを見守っていくことも大切な目的としています。

【取り組み】

毎日の園児の体調を確認し、体調の悪い園児や怪我をした園児の手当て、必要時には医療機関への受診を行っています。毎月の保健日よりで保健活動を保護者の方に事前にお知らせしています。また、各検査結果については個人情報保護を徹底しお知らせして必要時には医療機関での精密検査をおすすめしています。園児だけでなく職員においても年2回の健康診断などで健康管理に努めていただいています。

感染面については、日々の手洗いを徹底し食事前には職員・園児共にアルコールでの手指消毒を行っています。流行性の感染症などについては登園許可証を用いて感染症の拡大がないように管理しています。また流行性感染症の診断が一定数（10人）を超えて出た場合には保健所へ速やかに報告(今年度は10月にインフルエンザ報告済)、同時に地域での感染の程度なども感染症情報収集システムで確認し、感染拡大のないように努めています。また、予防接種確認票を用いて予防接種の進み具合などを個別で確認し、必要時は接種の促しを行っています。検便では調乳・給食担当の職員につきましては2回/月、保育担当・一般職員には1回/月を実施し結果を確認しています。

食事面では定期的に医師の記載のあるアレルギー意見書を保護者より提出していただき、それを基に給食成分表を参照しながらアレルギーを持つ園児の食事の確認を行い、調理室と相談し、各クラスの誤食防止に努め、今年度の誤食ゼロです。また、新入园児についても入园後にトラブルのないようにアレルギーの有無や程度などを事前に個別に確認させていただいています。

令和5年度 ヒヤリハット・事故記録まとめ

令和5年度（R5.1～R5.12）の一年間での事故・ヒヤリハットは14件です。病院受診に至ったケースでの内訳は園児間のトラブルによる目の充血1件、転倒による打撲・裂傷7件、転倒による歯科受診4件、脱臼1件、骨折1件です。

病院受診までは至らなかったヒヤリハット・アクシデントの内容・内訳は道路への飛び出し1件、誤食未遂5件、打撲1件、閉じ込め（収納スペースへ入り込んでいた）1件、ひっかき1件となっています。

誤食については事前のアレルギー食の確認（メニュー成分表に基づき）、保育者同士での声掛け、日常的なアレルギーの把握（アレルギー意見書の見直し）、調理室との連携・食材の確認の強化を行っています。また、朝のおやつに関してもお皿を個人用に変更する、アレルギーのない市販菓子を提供するなど対応しています。

転倒に関しては見守りを強化することや視野を広く持つこと、園児の歩行状態の確認、周囲の安全確認の徹底、走り回っている、本来の意図とは違う遊び方をしている様子などあればすぐに声掛けを行い注意を促すなどが改善策としてあげられています。

脱臼に関しては同じ動きをしても脱臼する子としない子がおり、脱臼しやすい子に対して特に動きに注意すること、また痛い時にはすぐに保育者へ相談にこるよう伝えることなどが改善策としてあげられています。

今年度は歯科受診に至るケースが多くみられました。幼児クラスでは動きも速く、密集で遊ぶことが楽しい時があることや、気持ちが昂ると周りが見えなくなることが重なり、結果ぶつかりや転倒に繋がってしまっている状態です。集団生活のためすべてを未然に防ぐことは難しくはありますが、園児たちにも説明したり、遊び方、空間の使い方を工夫するなどその都度、対策を考え対応しております。

令和6年度 衛生・安全計画

月	衛生		安全		
	計画	ねらい	計画	ねらい	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・内科検診 ・頭じらみ検査 ・爪検査(年間) ・玩具消毒(年間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常がある園児には看護師より個別に保護者にお伝えする。 ・頭じらみがある園児には看護師より個別に保護者にお伝えする。 ・爪が長い園児には、保護者に爪を切ってもらおう(担任、お城面記載など) ・園児の口に入る玩具や破損している玩具は処分する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(土曜保育)(火災) 出火場所:2階調乳室 ・安全チェック(毎月) ・日よけ設置(園庭、2階ベランダ) ・蚊よけ(園外) ※10月まで 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での職員の後割、流れを知る。 ・第一発見者の声掛けで避難する。 ・室内や園庭、ベランダの遊具の安全性を調べ、園児への安全を確保する。(特に室内の危険性を伴う箇所がある時は担任間で話し合い、危険性をなくす。) ・園児への暑さや紫外線への防止対策。 ・月1or2回程度、保育園周辺のマスマスに蚊よけの薬を入れて、蚊の発生を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での人数把握。 ・点呼の確認。 ・落ち着いて避難誘導する。(平日と違うので) ・危険性が生じるときは、ただちに取り除いたり直したりする。 ・暑い時は、風通しの良い所で過ごしたり、水分補給を行ったりする。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・扇風機、エアコン清掃(5月～3月ころまで) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の環境美化 ・安全性への点検も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(夕方)(火災) 出火場所:1階調乳室 ・水分補給(9月末まで) (ボカエリスエソット補給) 	<ul style="list-style-type: none"> ・降園児や在園児がいる中で、職員が冷静に集め、点呼を行う。 ・職員間での連携を行う。 ・お迎えに来た保護者にも参加してもらおう。 ・暑さや脱水症対策による体の負担を減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内ではトイレ、園庭では死角になるような所も確認を行う。 ・事前にホワイトボードにお知らせを貼り出す。 ・朝、夕方に水分補給を行う。 ・静と動の時間を入れる。 ・朝、夕の根柢をしっかりと行う。看護師との連携。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診 ・頭じらみ、水いぼ検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常がある園児には看護師より個別に保護者にお伝えする。 ・頭じらみ・水いぼがある園児には保護者にお伝えする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室(幼児) ・シャワー、水遊び(6月～9月中旬まで) ・避難訓練(地震→火災) 出火場所:2階調乳室 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールや標識を知る。 ・汗を流して快適に過ごす。 ・地震時、安全な所に集まり、体を低くして頭を守る。 ・災害用の靴や帽子を破り、避難する。 ・「お・は・し・も・ち」を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩時、交通ルールや危険性を園児に伝える。 ・子ども健康チェック(視診)を行う。 ・2名以上の職員の配置。笛の持参。 ・乳児、年少児のお着替えの仕方・補助。 ・保護者への準備物のお知らせ。 ・動揺する園児への対応。出入り口を開ける。 ・物が落ちてくる所に近寄らない。(常に整理) ・0,1歳児への避難誘導のヘルプ。 ・バギーや避難車の用意。
7月			<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び(※8月末まで) ・水分補給 ・AED訓練(7月or8月)(園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢での水遊びでのお約束を守る。 ・水遊びでの職員間の連携・役割分担 ・活動の間に水分補給を行う。 ・寝る時や活動中は適度にエアコンを入れる。 ・熱中症を防ぐため、体温調節を行う。 ・職員の役割分担や流れを学ぶ。 ・心肺蘇生法&AEDの使い方学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の健康チェック(視診)を行う。 ・2名以上の職員の配置。笛の持参。 ・園児ひとりひとりの体調を把握する。 ・室内遊びでもこまめに水分補給を行う。 ・室内の気温、湿度など常に気を付ける。

令和6年度 衛生・安全計画

月	衛生		安全			
	計画	ねらい	計画	ねらい		
7月			<ul style="list-style-type: none"> 蚊よけ対策（園内）（※11月上旬まで） 台風、大雨対策（10月まで） 防災デー 避難訓練（地震→津波） 避難訓練（火災） （※防災の日） 出火場所：1階調理室 災害パツクの確認 非常食の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 園内における蚊への対処を行う。 台風・大雨が来る前に事前に安全確認をする。 災害について体験し、学ぶ。 災害用の靴や帽子を被り、避難する。 園児を安全に迅速に避難誘導する。 戦争と平和について考える。 必要、不必要が精査し、整理する。 必要なものを補充する。 賞味期限の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 登園前と降園後に葉を散布する。 台風で飛ばされそうな物は事前に園庭、園内に入れる。 保護者への一斉メールへの連絡。 出入り口を開ける。電気、ガスを消す。 幼児の担任は、絵本やお話を通して戦争のことを子どもに分かりやすいように伝える。 破損を確認したり、補充を行ったりする。 賞味期限の半年くらい前から消費する。また補充も行う。（ローリングストック） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 各部屋清掃 	<ul style="list-style-type: none"> お盆保育中に机や椅子など清掃する。（※普段できないような所を行う。） 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪880万人訓練（※避難訓練） 地震→火災→津波 出火場所：2階調乳室 竜巻対策 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府下における総合訓練 町の一斉放送を聴いて避難場所まで避難する。携帯のアラームによる津波情報を確認し、避難する。 竜巻の発生を知り、園内の窓や戸が少ない場所に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所まで落ちて着いて迅速に誘導する。 避難場所での人数確認と怪我の有無など。 各部屋、トイレなど最終確認をする。 ロールカーテンなどガラスが飛んでくることへの対処。また、園児に布団や毛布などを掛ける。 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 視力検査（幼児） 	<ul style="list-style-type: none"> 両目の視力を検査し視力を確認する。（理解を考慮する。） 	<ul style="list-style-type: none"> 異常がある場合には、保護者に個別で連絡し、必要時には病院受診をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（大火災） ※広域避難場所まで避難する。 出火場所：1階調理室 緊急連絡先カード確認 遊具の安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難場所（第2公園）への避難方法と場所を知る。 人数確認をしっかりと行う。 119番通報への仕方を知る。 保護者に緊急連絡先カードの確認を行い、変更があれば書き直してもらおう。 遊具の安全を業者に依頼し、遊具の強度などを調べてもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の役割分担と連携をしっかりと行う。 広域避難場所まで安全に迅速に避難誘導する。 園内の最終確認をしっかりと行う。 担任が確認をしっかりと行い、訂正や記入は赤で書く。 安全確認を行う前に、職員でもしっかりと見て気になる箇所があれば業者にお伝えする。
10月	<ul style="list-style-type: none"> 聴力検査（4、5歳児） 嘔吐セットの確認 予防接種確認表配布（※年長児のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 機械を使用して、両耳の聴力を検査し、聴力を確認する。 感染症が流行る時期の前に準備・確認を行い、職員全員が適切に処理できるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常がある場合には、保護者に個別で連絡し、必要時には病院受診をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（火災） ※土曜保育（夕方実施） 出火場所：2階調乳室 日よけを外し、片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 平常と違った環境でも慌てず、機敏に行動する。 お迎えに来た保護者にも参加してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任が確認をしっかりと行い、訂正や記入は赤で書く。 安全確認を行う前に、職員でもしっかりと見て気になる箇所があれば業者にお伝えする。
11月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策（3月末） ※インフルエンザ ※ロタウイルス、胃腸炎など 内科検診 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防ぐためお部屋の消毒を徹底する。また、玩具の消毒も徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に体調の悪い園児は、他児と隔離する。（休んで頂くことありうる） 下痢を3回以上/日している園児には保護者に連絡し、病院受診をしてもらう。 嘔吐をした場合は、換気を十分に行い、ピュウーラツクスで消毒を行う。 異常がある場合は、看護師より個別に保護者にお伝えする。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（火災） ※土曜保育（夕方実施） 出火場所：2階調乳室 日よけを外し、片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 平常と違った環境でも慌てず、機敏に行動する。 お迎えに来た保護者にも参加してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任が確認をしっかりと行い、訂正や記入は赤で書く。 安全確認を行う前に、職員でもしっかりと見て気になる箇所があれば業者にお伝えする。

令和6年度 衛生・安全計画

月	衛生		安全		
	ねらい	配慮	計画	ねらい	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 園児の体調をしっかりと把握する。 エアコンフィルターの掃除を行い、換気をよくする。(ビュア・エアーム) 希望保育期間中に、普段できない所を掃除する。 また、断捨離も行う。 尿のたんぱくなどを調べる。(潜血、たんぱく、pH) 嘔吐処理(園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の受け取りの時に保護者にお子さんの体調をしっかりと聞く。 園児がいないときに行う。(喘息もちの園児には気を付ける。) 異常がある場合は、父兄と一緒に保護者にお伝えし、病院受診をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練(火災) ※口頭での火災発生を伝える 出火場所：1階事務所 AED訓練(園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 声かけだけで緊急の事態が分かり、避難する。 火災の怖さや暖房器具の危険なことを知る。 お迎えに来た保護者にも参加してもらう。 職員の役割分担や流れを学ぶ。 心肺蘇生法&AEDの使い方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮 乳児は、2階ベランダ外階段から避難するので職員の手を要する。 園庭奥まで避難誘導する。 固定電話が使用できないので、携帯電話から119番通報を行う。 事前にホワイトボードにお知らせを貼り出す。
1月	<ul style="list-style-type: none"> 接種済みの予防接種を記載して、もらい早めの接種を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザなど現在の人数を掲示する。 同じ感染症が10人以上出た場合は、感染症センターへ報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練(地震→火災) 出火場所：1階調理室 ★阪神淡路大震災 さまざまな講習(園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災を想定。 どこにいても何をしても慌てず、近くの保育者の所で早く身をくまわり、避難する。 災害用の靴や帽子を被り、避難する。 講師を招き、さまざまな講習や簡単な武術を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> お話、絵本を通して地震の怖さを伝える。 近くの園児を集め、安全を確認しながら人数を把握する。救急ポーチ、災害バッグの持参。 出入り口を開ける。電気、ガスを消す。
2月	<ul style="list-style-type: none"> 視力、聴力再検査 感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 今回も異常がある園児には、個別に看護士よりお伝えし、必要時には病院受診を勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練(火災) ※消防署員派遣 出火場所：2階調乳室 交通安全教室 防犯(不審者対応)訓練(自主訓練) 災害バッグの確認 非常食の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 各々の役割分担を把握し、園児を避難誘導する。 トイレなど死角の確認を行う。 年長児が一人で歩けるように戸惑ったりした時は答えを見つけて出すように問いかける。 不審者侵入を想定し、職員間の合言葉を確認する。 自分の役割を把握し、実行する。 園児に不安や動揺を与えないように受け止める。 破損を確認したり、補充を行ったりする。 賞味期限の半年くらい前から消費する。また補充も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の話を絵本などを使って、地震や津波の恐ろしさを伝える。(幼児) 災害バッグなど持つていく。 また、非常時災害のために非常食の用意をしておく。水などためておいたり、ペットボトルに入れて用意をする。 出入り口(ドア)を開ける。電気、ガスを消す。
3月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 年度末清掃、整理 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末に向けて、お部屋の清掃、玩具の整理、整頓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 ※地震→火災→津波 出火場所：1階調理室 ★東日本大震災 	<ul style="list-style-type: none"> 放送を聴いて、自分の身を守る(幼児) 園児に毛布や掛布団などかけて守る。(0、1歳児) 保育園3階ホールを目標し、素早く安全に避難する。 災害用の靴や帽子を被り、避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の話を絵本などを使って、地震や津波の恐ろしさを伝える。(幼児) 災害バッグなど持つていく。 また、非常時災害のために非常食の用意をしておく。水などためておいたり、ペットボトルに入れて用意をする。 出入り口(ドア)を開ける。電気、ガスを消す。

2024年度 行事予定表

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
1	水		土		木		火		金		土		日		金		日		土		土		土	
2	火		木		金		月		土		日		月		土		月		日		日		日	
3	水		金		土		火		日		月		火		日		火		月		月		月	
4	木		土		日		水		月		火		水		日		水		日		日		日	
5	金		日		月		木		火		土		木		月		木		月		月		月	
6	土		月		火		金		水		日		金		火		金		日		日		日	
7	日		火		水		土		木		月		日		水		土		日		日		日	
8	月		水		木		金		日		月		月		火		月		日		日		日	
9	火		木		金		土		月		火		水		日		火		日		日		日	
10	水		金		土		日		月		火		木		日		火		月		日		日	
11	木		土		日		月		火		水		金		月		水		日		日		日	
12	金		日		月		火		日		土		土		日		木		日		日		日	
13	土		月		火		日		月		月		日		日		金		日		日		日	
14	日		火		水		土		火		日		日		月		日		日		日		日	
15	月		水		木		金		日		月		月		日		土		日		日		日	
16	火		木		金		土		月		日		日		日		日		日		日		日	
17	水		金		土		日		日		月		日		日		日		日		日		日	
18	木		土		月		火		日		日		日		日		日		日		日		日	
19	金		日		火		水		日		日		日		日		日		日		日		日	
20	土		月		水		木		日		日		日		日		日		日		日		日	
21	日		火		木		金		日		日		日		日		日		日		日		日	
22	月		水		土		日		日		日		日		日		日		日		日		日	
23	火		木		日		月		日		日		日		日		日		日		日		日	
24	水		金		月		火		日		日		日		日		日		日		日		日	
25	木		土		火		水		日		日		日		日		日		日		日		日	
26	金		日		日		日		日		日		日		日		日		日		日		日	
27	土		月		月		火		日		日		日		日		日		日		日		日	
28	日		火		火		水		日		日		日		日		日		日		日		日	
29	月		水		木		金		日		日		日		日		日		日		日		日	
30	火		木		金		土		日		日		日		日		日		日		日		日	
31	日		金		土		日		日		日		日		日		日		日		日		日	
備考欄	○スイミング休み		○スイミング休み		○16日スイミング休み				○年長児 半ばり						○9日スイミング休み		○5歳児懇話会(金)は除く		○スイミング休み		○旅立ちの会			

